

設立趣旨書

高度情報化、国際化などわが国を取り巻く社会情勢が目まぐるしく変わる中で、人々のライフスタイルや価値観が多様化しています。

また、少子高齢化・人口減少時代の本格的な到来により、地域の担い手が減少する一方で、『ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現して、もっと家庭や地域のことに積極的に参画したい』と考える人たちが確実に増えています。

しかしながら、わが国の地域社会や職場風土は高度経済成長・人口増加時代に確立したシステムが根強く残っており、希望をするにもかかわらず、男性が家庭や地域に参画すること、女性が決め事に深く関わるのが難しいのが実情です。

一方、企業の中には、多様化する従業員や顧客ニーズに対応し、激動する社会の中で持続可能な企業として生き残りを図るため、「ダイバーシティ・マネジメント（多様性と受容）」を経営戦略として取り入れ、「多様な立場の人々の力を活かす」という発想で組織の活性化に取り組んでいる事例が多く見受けられるようになってきています。

そこで、私たちの生活の拠点である地域においても同様に、「人々の力を活かす」という発想に基づいて地域を構成する人々の多様な立場や価値観を受け入れ、地域づくりの力に転じることができれば、子どもや孫世代にぬくもりあふれる持続可能な地域を引き継いでいくことができるのではないのでしょうか？

地域コミュニティは、年齢・性別・職業・人種・障がいの有無、また、性格・趣向や価値観など、外面も内面も様々な人が集まっているひとつの社会です。

「子どもだから、男性だから、女性だから、子育て中だから、介護がある、病気だから…」と互いの違いに線を引くのではなく、そこにある多様性に気づき・認め・受け入れることによってプラスに転じることができれば、地域を取り巻くさまざまな問題を解決する力につながっていくのではないかと私たちは考えます。

ダイバーシティコミュは、「多様性と受容」の浸透こそが人々の幸せな暮らしにとって重要な鍵であると考え、人・モノ・場所・情報などあらゆる地域資源を多様性と受容の観点からつなぎ、持続可能で豊かな地域社会の実現を図ることが不特定多数の市民の利益の増進につながると考え、そのためには営利を目的としない特定非営利活動法人として活動していくことが最適と考え設立を決意しました。

平成24年1月25日

特定非営利活動法人ダイバーシティコミュ

設立代表者 東京都武蔵村山市大南1丁目138番地の4
森林 育代